

健康経営のすすめ

※健康経営は、NPO 法人健康経営研究会の登録商標です

～今 健康経営の取り組みが注目されています～

健康経営とは、従業員等の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実行する経営手法のことです。

当所も健康経営優良法人（中小規模法人部門）の認定を2021年から継続して受けています。健康経営に取り組むことで、従業員の活力向上や生産性の向上、企業価値向上等へとつながることが期待できます。

そこで、健康経営が企業にもたらす効果、ひいては従業員にもたらす効果について検証し、多くの企業に取り組んでもらえるようご紹介します。

商工会議所では、認定に関するサポートも行っておりますので、お気軽にご相談ください！

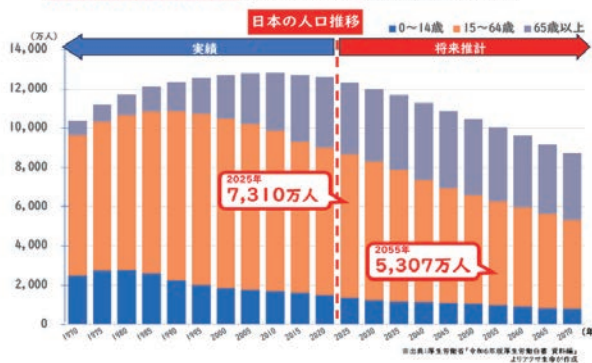


健康経営取り組みの背景

今、健康経営に対する関心が高まっています。その背景には従業員の高齢化に伴い、病気等により貴重な人材が継続して働けなくなるというリスクが高まっていること、少子化により生産年齢人口（15歳～64歳）が減少し、長期にわたり深刻な人手不足が続くこと、高齢化による国民医療費の増加が企業の社会保険料負担の増加につながっていることなどが挙げられます。こうした背景の中、政府としても成長戦略である「日本再興戦略」の中で、国民の健康増進を図る国策の一つとして「健康経営」の普及・推進を掲げ、労働人口が減少する中、将来に向けた労働力の確保や従業員の定着、活躍を求めています。

健康経営取り組みの背景は少子高齢化

生産年齢人口は、2025年7,310万人に、さらに2055年5,307万人へ、30年で約2,000万人減少することが予想されています。（2023年推計時）

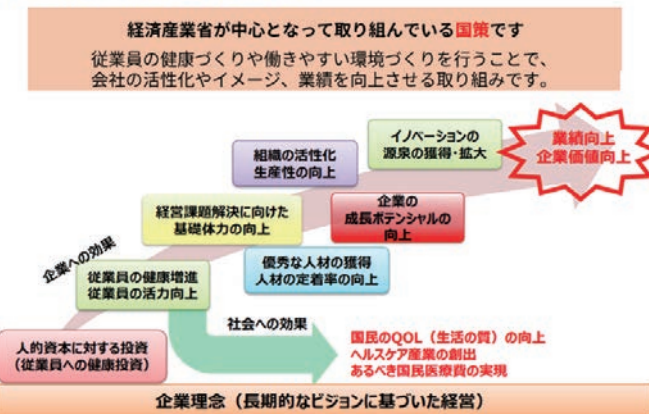


健康経営がもたらすもの

健康経営への取り組みは、経済産業省の『健康経営の推進について』によると、人的資本（従業員）への投資により従業員の健康が増し、「従業員の活力向上」につながり、「組織の活性化」「生産性の向上」に、さらに「業績向上」「株価向上」「企業価値の向上」に発展するとしています。「健康経営」の取り組みは、企業にとって「コスト」ではなく、将来に向けた「投資」であるととらえ、実施を促しています。

また、企業側と従業員が健康経営と一緒に取り組むことで、従業員に参画意識が生まれモチベーションが向上し、従業員は企業の思いを感じることで企業に対する愛情が生まれ、仕事にやりがいや誇りを感じ、熱心に取り組む意欲と活力があふれてきます。これを「ワーク・エンゲイジメント」と呼びますが、このワーク・エンゲイジメントを高めることは、健康経営に取り組む大きなメリットと言えます。健康経営を進めることは、単に健康増進を図ることができるだけでなく、従業員のワーク・エンゲイジメントが高まり生産性が向上するとともに、採用面での優位性の構築や定着率の向上に結びつくなど、企業が望む重要なポイントとなります。

健康経営・健康投資とは？



「健康経営の推進について」令和4年6月 経済産業省ヘルステック産業課 より提供

健康経営について、さらに詳しく知りたい方へ

健康経営セミナー

が開催されます！

■日時

2025年4月7日(月) 18時～

■場所

館林商工会議所

詳細は同封のチラシをご確認ください。